



寒河江・山形の元気のために

山形県議会議員

# うめつ ひろし 木津博士

私は、この度の常任委員会における所属変更で、農林水産常任委員会副委員長を仰せつかりました。TPPや米政策の見直しなど、農政の大転換期を迎える中で、山形県の基盤産業である農業の方々や支援のあり方を、皆様のご意見を伺いながらしっかりと対応していく所存です。

また、特別委員会においては、再生可能エネルギー導入促進対策の委員に配属となりました。卒原発を目指す本県にとって、再生可能エネルギーの導入は極めて重要であり、先進地の取組みの調査などを行い、風力発電など県内の各地域に合ったエネルギーの創設に向けて全力を上げなくてはなりません。また、各地域に合った再生可能エネルギー等の供給基盤の確立により、雇用の創出にも繋がるよう努めてまいります。

この度の定例会では、予算特別委員会において質問の機会をいたしました。そこで、次の項目について質問させていただきました。

## 県政・調査活動報告書

発行／木津博士事務所 発行責任者／木津博士  
事務所／寒河江市元町3丁目3-3 大和ビル2階  
電話／0237-84-7111 FAX／84-7118  
URL http://h-umetsu.jp E-mail h-umetsu@ic-net.or.jp

県議会2月定例会は、提案された可決され、3月19日に閉会されました。

平成26年度一般会計当初予算是総額6,010億円で、前年度比では1・1%の減額となっていました。

私は、この度の常任委員会における所属変更で、農林水産常任委員会副委員長を仰せつかりました。

TPPや米政策の見直しなど、農政の大転換期を迎える中で、山形県の基盤産業である農業の方々や支援のあり方を、皆様のご意見を伺いながらしっかりと対応していく所存です。

4. 少子化対策について
3. 高校教育におけるものづくり人材の育成について
2. 不妊による治療費助成制度について
1. 山形新幹線のデザイン一新と足湯などを設けたイベント列車が導入されることについて

### 1. 山形新幹線のデザイン一新と足湯などを設けたイベント列車が導入されることについて

質問項目は次の通りです。

国立社会保障・人口問題研究所の「夫婦調査の結果概要」によれば、夫婦にたずねた理想的な子どもの数（平均理想子ども数）は、前回調査に引き続き低下し、調査開始以降最も低い2・42人となりました。

### 子育て支援医療制度拡充の考え方について

8万7千人に拡大される見通しのことあります。

これにより、市町村の子育て支援策がより充実し、子育てに対する経済的負担が軽減され、ひいては、知事の目標とする自然出生率の向上に繋がることを期待いたしますが、今回、制度拡充を決断された考え方について、知事のご所見をお伺いいたします。

答弁者（吉村知事）



- また、夫婦が実際に持つつもりの子どもの数（平均予定子ども数）も過去最低の2・07人となりました。予定子ども数が、理想子ども数を下回る理由として最も多いのは、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」であり、とりわけ30歳未満での若い世代では、こうした経済的理由を選択する割合が高くなっています。新年予算では、県の子育て支援制度について、今年度、入院医療費に係る助成の対象を中学3年生まで引き上げたのに続き、外来医療費に係る助成の対象を、就学前から小3まで生ままで引き上げることが盛り込まれています。この制度拡充により、助成対象者は2万8千人増加し、これまでの対象者と合わせると
- ※予算特別委員会質問の内容は要約して掲載させていただきます。

これまで就学前の乳幼児を対象としておりました外来診療について、統計的に医療機関を受診する回数が多く、医療費の負担が大きい、小学3年生までの対象範囲を拡大することになりました。今後の取組みについて

河北病院の医療機能再編に係る施設整備について

河北病院の医療機能再編に係る施設整備について

また、各地域に合った再生可能エネルギー等の供給基盤の確立により、雇用の創出にも繋がるよう努めてまいります。

この度の定例会では、予算特別委員会において質問をいたしました。そこで、次の項目について質問させていただきました。